

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		公表日	
児童発達支援・放課後等デイサービス LUMINO田代		2023年2月20日		2023年2月20日	
評価項目	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
				課題や改善すべき点	
運営・実施計画	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	職員等を事業室に置き、スペースの確保を行っている。	適切であるが、必要に応じて、物の配置など、より良い場所に変更していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○	個別対応も出来る様に、平均して4名の職員を配置する事を行っている。	土日祝日に向けて、さらに職員を増やしていく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に並び、バリアフリー化や音響設備等、障壁上の配慮が適切になされているか。	○	運動するエリアには、ジョイントマットを敷くなど、運動するエリアを可視化出来る様になっている。	子どもでも観る用意出来る場所がある為、外付けの鏡を取り付けていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動が自然な状態になっているか。	○	恒久的な清潔、消毒を行っている。	歯垢や匂いがあることで除菌の頻度を上げる場所を増やしていく。
業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	パーテーションで仕切りを併せている。個別の部屋の確保が出来ている。	仕切りで、視覚は遮断できても音を遮断する窓はないので、職員も個別対応で対応している。
	6	発達支援を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○	業務の振り返りを行い、改善を中心に定期的に話し合いを行っている。	職員がでにくいこともあるので改善している。
	7	保護者向け評価表により、保護者の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	保護者と密に連絡を取るなど行っている。	定期的に評価表の改善をしている。
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	改善を中心に定期的に話し合いを行っている。	職員がでにくいこともあるので改善していく。
適切な支援の実施	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	第三者による外部評価は行っていない。	第三者による外部評価は行っていない。要検討。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	定期的な研修や会議など行っている。	改善内研修、法人内研修を実施。研修の質も高めていく。
	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	○	児童発達支援を中心に個別支援計画に沿った内容、プログラムを作成している。	引き続き実施していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を把握し、分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○	モニタリングや契約時に細かくチェックを行い、作成している。	引き続き実施していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の上で、こどもの療育の利益を考慮した検討が行われているか。	○	全ての職員で支援会議を行い、共通理解を深めている。	引き続き実施していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○	個別支援計画を個別化し支援書を作り、案に沿った内容で保護者へフィードバックが行えるよう工夫している。	引き続き実施していく。
	15	こどもの発達行動の状況や、療育ニーズに合わせたフォーマルなアセスメントや、非公式な観察などを用いたインフォーマルなアセスメントを使用するよう確認しているか。	○	言い事、社務所、保育園、幼稚園、好きなこと、相談支援事業所との連携など実施し、情報を収集している。	引き続き実施していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域連携」のわらわら及び支援内容も盛り込まれているか。また、その実施に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	設定されている。前年度の備忘、その目標を設定した理由やエピソードを記載している。	引き続き実施していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	セッション前に全員で打ち合わせを行っている。	引き続き実施していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	活動日の人数、子供の様子などでメニューを切り替える事を行っている。	引き続き実施していく。
関係機関・団体等との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、実施が行われているか。	○	話あてて計画して決めている。	引き続き実施していく。
	20	支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して実施を行っているか。	○	セッション前に全員で打ち合わせを行っている。	引き続き実施していく。
	21	支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○	セッション後は、保護者からの伝達事項、メニューについて、子供の様子などの3つの観点で話を行っている。	引き続き実施していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	記録を取る事、打ち合わせ等で見直しを行っている。	引き続き実施していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の改善の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	定期的にモニタリングを実施。細かいアラインメントを見直ししている。	引き続き実施していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて実施を行っているか。	○	子どもたちの様子を見て、様々な支援を行っている。	今後もより良い支援やできるような話あてしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされているか。また、自己決定をするのを促すための支援を行っているか。	○	同一のメニューであっても、個々の能力によってレベルを変えたりすることが出来るなど、自己選択、決定して行えるような工夫をしている。	引き続き実施していく。
	26	個別対応と集団支援のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した上で参加しているか。	○	見直しと改善長どちらから出席している。	引き続き実施していく。
	27	地域の支援、連携（土曜夜や自立支援センター、障害児福祉センター、保健所、教育等関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	言い事、社務所、保育園、幼稚園、好きなこと、相談支援事業所との連携など実施し、連携している。	引き続き実施していく。医療機関との連携も強める。
	28	学校との関係共有（年間計画・行事予定の交換、こどもの下校時の確認等）、連絡調整（遠征時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	返しの連絡等実施している。	年計計画や行事予定などは交換ができていく。
関係機関・団体等との連携	29	共有に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解が図られているか。	○	言い事、社務所、保育園、幼稚園、好きなこと、相談支援事業所との連携など実施し、連携している。	引き続き実施していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○	情報提供書を作成している。	引き続き実施していく。少人数であった方のための支援の調整も必要。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	連絡、助言は頂いている。	スーパーバイザーは出ていないので改善が必要。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他とのこどもと活動する機会があるか。	○	放課後児童クラブを利用している児童も、児童クラブへ遊びに行ったり、その他の成長を共有することもある。	地域との連携が少ないのが現状。今後、職員人数が増えれば、研修などの受けの機会を設けていく。
保護者への説明等	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	参加していない。	地域との連携が少ないのが現状。今後、職員人数が増えれば、協議会等などの受けの機会を設けていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を深めているか。	○	セッション後に保護者にフィードバックをする時間を設けている。また、LINEやメールも利用している。事前に打ち合わせも実施している。	引き続き実施していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）や家族等の参加できる研修や保護者研修を行っているか。	○	自宅で家族で出来るトレーニングなどYouTube動画を視聴、その要約内容の資料を伝えていく必要がある。	家族に対しての支援プログラムなどは行っていない。
	36	課題・課題、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時に時間貸し時間を取り、細かい説明をしている。	引き続き実施していく。
保護者への説明等	37	放課後等デイサービス契約を作成する際には、こどもや保護者の意向の尊重、こどもの療育の利益の優先考慮の観点から進め、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	適宜、電話相談にて対応している。	引き続き実施していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援の意向を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	説明、同意ができていく。	引き続き実施していく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、個別が必要な助言と支援を行っているか。	○	家族からの相談ごとがあれば、LINE、電話などで話を聞く事を行っている。定期的なフィードバックで話を聞き取りながらの丁寧な実施もできている。	引き続き実施していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	苦悩や虐待があった場合の相談窓口を特定し、届けていく。職員に対して定期的な研修を実施している。継続している。	苦悩があった場合1～2日で解決し、報告書等も作成、再発防止をしている。継続している。
保護者への説明等	41	定期的に連絡等を行うことにより、HCPの出席を促すことにより、活動調整や行事予定、連絡調整等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	連絡メニューを発信している。	周知している。
	42	個人情報等の取扱いに十分留意しているか。	○	利用児童の専用ファイルを作成。鍵付ロッカーで管理。	引き続き実施していく。
	43	障壁のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	個別な対応が必要な児童には、職員の共通認識のため、可視化してわかりやすくする書類を作成。（ハンドサインなど）	引き続き実施していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○	実施できていない。	地域に開かれた運営が少ないのが現状。今後、職員人数が増えれば、受け入れていく機会を設けていく。
保護者への説明等	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知することや、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	発生を想定した訓練を毎月1回に実施。職員に対して定期的に研修を行っている。	引き続き実施していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定することや、非常時の発生に備え、定期的な避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	○	発生を想定した訓練を半年ごとに実施。職員に対して定期的に研修を行っている。	引き続き実施していく。ご家族への周知ができていないのが課題。
	47	事前には、保護や子供誘導、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	○	個別対応の事前の準備は、職員の中で共有している。可能な限り事前に共有する書類を作成している。事前にチェックシート、アセスメントにも記載している。	引き続き実施していく。
	48	食育アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○	食べ物の提供を行っていない。	食べ物の提供を行っていない。
保護者への説明等	49	安全計画を作成し、安全確保に必要な研修や訓練、その他の必要な措置を講じる等、安全確保が十分な状態で実施が行われているか。	○	発生を想定した訓練を毎月1回に実施。職員に対して定期的に研修を行っている。非常時の前倒しの研修なども実施している。	引き続き実施していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約時に周知している。	引き続き実施していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○	ヒヤリハット発生時には、関係者で書類を作成。全員が目を落とすように職員全体のサインをもらう。	引き続き実施していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	新人職員は入職しただけでなく、研修職員は定期的に虐待防止に関する研修を行っている。	引き続き実施していく。
保護者への説明等	53	どのような場合にやむを得ず特別支援を行うかについて、総論的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	契約時に事前に説明し、職員にも共通認識を持って様々定期的に研修を実施している。	引き続き実施していく。